

【テーマ5 働き方改革推進のための研修の在り方に関する研究】 長崎大学

「オンデマンド教材を用いた研修とその効率化に関する調査・研究」

調査の概要

◆課題認識

- ・離島等の教員が研修への移動・出張に要する時間がかかり過ぎる
- ・研修履歴の管理が十分でない

◆調査研究の目的

- ・勤務時間管理が行える研修の在り方を提案する
- ・研修のオン・デマンド化が図れる教材の提案
- ・研修カルテの作成

◆調査研究の方法

- ・長崎県市町教育委員会へのアンケート調査
- ・離島・半島地域の教員へのアンケート調査
- ・長崎県教育委員会及び市町教育委員会への聞き取り調査

◆現状

- ・離島・半島地域用のオンデマンド教材は無い
- ・対面型に固執する教員研修
- ・研修履歴の統一的・一元的管理が行えない行政制度

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①離島・半島地域の英語教員の教員研修に対する意識

- ・これまで宿泊を要した教員研修への参加を、勤務時間内に行える研修の提案
- ・研修を学期内、週末、夕方等を実施するのではなく、長期休業期間中に行ってほしいという意向が強いのか

②オン・デマンド動画教材への教員意識

- ・対面研修には固執しているものの、オン・デマンド化には可能だとの認識があるかどうか
- ・対面以外の研修の在り方を、現場の英語教員は許容しているかどうか

③研修履歴の管理状況

- ・法定研修や国の研修は、県教委が管理
- ・それ以外の研修の管理主体はどこか

◆成果

- (1)「働き方改革推進」を前提とすると、放課後、週末等に教員研修を実施するのではなく、長期休業期間中に行って欲しいという意向が強い。
- (2)(1)を踏まえて、研修の在り方としてはオンデマンド（あるいは、オンライン）という形式も有望な選択肢になり得る。
- (3)一般的には、最もオン・デマンド化が難しいと考えられているスピーキング・スキルでも、研修教材としては受け入れ可能だとの認識を、英語教師が持っていることが分かった。
- (4)法定研修あるいは国の研修は県教委、それ以外は市町村教委が研修履歴を管理しており、研修履歴に関し、県教委から市町村教委に教育行政による命令権はないことから、その点に乖離が生じていることが分かった。また、例として「研修カルテ」を作成した。

今後の課題

◆研修そのものに教師が望むこと

- ・研修のオンデマンド化（あるいはオンライン化）だけでは十分ではなく、その研修で得られるスキルを活用した授業映像を作成する必要がある
- ・研修履歴の目的や活用の仕方を明示する必要がある

※ 上記項目については一例であり、適宜変更してかまわない。

※ 別紙イー②については、文部科学省において公表する。